

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2021/12/06号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

FRB、「インフレは一時的」を変更

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



パウエル議長の議会証言そしてオミクロン株がマーケットを大きく動かした一週間でした。ゴールドはまずモデルナCEOの、既存のワクチンがオミクロン株への効果が薄いという見解を示したことから1795ドルから1808ドルまで上昇したあと、パウエル議長が「物価上昇がより広範囲に拡大し、インフレ高進リスクが高まった」として、「transitory」という言葉を使うのをやめ、次回のFOMC（12月14-15日）でテーパリングの加速を検討する公算が大きい、と証言したことから、ゴールドは1770ドルまで急落しました。CME FedWatchでは2022年6月の利上げの可能性は70%以上に上昇、株価、そして原油といったそのほかの商品も大きく下落しました。パウエル議長の再任にあたって、おそらくバイデン政権から、ある程度の「条件」が示されたのではないのでしょうか。FRBがもっとも重視してきた「雇用」、残りの800万人の失業者の復職よりも、バイデン政権としては2億の国民の関心事である「物価」（バイデン政権の支持率に直結）にその焦点を移すようにとの条件での再任だったのではないのでしょうか。その結果、これまでかたくなに使ってきた「過渡的transitory」という言葉を取り下げたのでしょうか。マーケットはオミクロン株に対する対応として、テーパリングの速度を緩め、逆に緩和的になることを期待していましたが、議長証言はその逆を行くものとなった結果、マーケットは冷や水を浴びせられた形です。インフレとそれに対する金利上げは、タイミングによってゴールドにとっては強材料と弱材料が共存しています。現在の市場は「金利上げ弱材料」に反応した結果となっています。今後「インフレ」に焦点が移るとき、そしてオミクロン株の影響がより深刻となると（ならないときもあり得ますが）、ゴールドに資金が移ると予想します。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

金ETF証拠金取引WEEKLY REPORT

【マーケット・トピック】

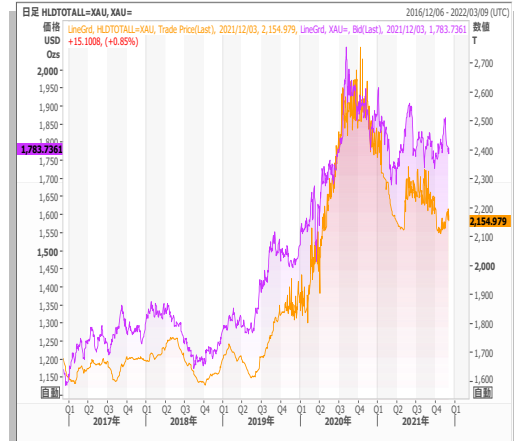
ゴールドの需要と供給 (8) 現物投資2

「金貨」

地金と同じようにゴールドの現物投資で人気があるのが金貨、ゴールドコインです。これはアンティーク型とプリオン型の二種類がありますが、ゴールドの価値に投資するという意味ではプリオン型が一般的です。地金と同じようにゴールドの時価によってその価値が計算されるもので、毎日価格が変わります。地金よりも小口で、その分、プレミアムは高めですが、保有もしやすく、特に欧米ではゴールドコインは人気が高いと言えます。一方アンティーク型は発行枚数が少なく、ゴールドの価値というよりも希少価値でその価値が上がっていくような「骨董品（アンティーク）」的なコインです。実際に含まれるゴールドの価値とはあまり関係なく、価格がゴールドの価格の変化で変わることもめったにありません。プリオン型のコインの代表は、カナダのメープルリーフ、南アのクルーガーランド、オーストリアのウィーン金貨、米国のイーグルコイン、オーストラリアのカンガルーコインなどが代表的です。

「ゴールド選好国」

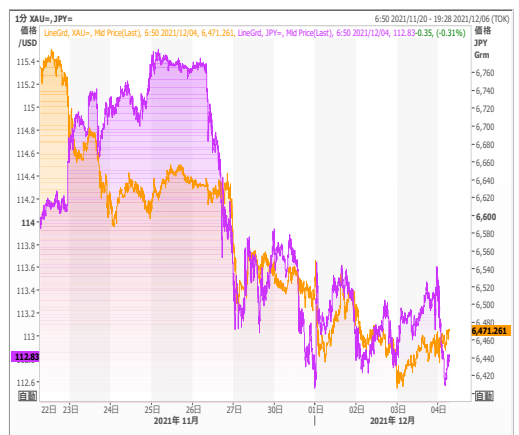
世界で最もゴールドの現物を買っているのは中華圏と日本を含む東アジア地域です。2021年の予想では417トン。それに次ぐのが欧州で266トン。特にドイツでは二度の大戦で紙幣が紙切れになった経験からゴールド現物への投資が盛んです。そしてインドが含まれる南アジアの164トン。これは控えめな数字に見えますが、中国と並ぶゴールド選好が強いインドでは、宝飾品の需要としてそのゴールド買いがカウントされている部分が大いと思われれます。中東は147トンで目立つのはトルコとイランです。これらの国々の現物買いと先物を中心とした米国のファンド筋のゴールド買いの大きな違いは、現物の買いはゴールド価格が下がったときに、その需要が大きくなるバーゲンハンターであること。先物の投資家は価格が上がると買うトレンドフォロワーであり、好対照となっています。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

